

# 族譜

梶山季之 原作  
ジェームス三木 脚本・演出

2008/6.29(日)  
島根県民会館 中ホール ●開演14:30

共催:「族譜」を観る会松江  
秋田雨雀・土方与志記念青年劇場  
後援:駐日韓国大使館・韓国文化院・在日本大韓国民団中央本部  
在日本大韓国民団島根県本部・島根県日韓親善協会連合会  
松江地区日韓親善協会・島根県・島根県教育委員会・松江市  
松江教育委員会・山陰中央新報社・朝日新聞社松江総局  
毎日新聞社松江支局・読売新聞社松江支局  
産経新聞社松江支局・新日本新聞社松江支社  
中国新聞社松江支局・島根日日新聞社・日本海テレビ  
山陰中央テレビ・財団法人人間自然科学研究所  
小松電機産業株式会社

協力:松江市民劇場

美術 ● 石井強司 照明 ● 横田元郎 音楽 ● 飯島優  
音響効果 ● 菊池弘二 衣裳 ● 宮岡増枝  
舞踊指導 ● 白洪天 韓国語訳・指導 ● 金聖守 馬政照  
舞台監督 ● 荒宏哉 演出助手 ● 板倉哲  
製作 ● 福島明夫 製作助手 ● 大屋寿朗 川田結子  
舞台監督助手 ● 松橋秀幸  
大道員 ● 小道具 ● 劇団舞台美術部  
演奏協力 ● 朴根鐘 韓服製作 ● 朴鐘呂

照明オペレーター ● ライティングユニオン  
音響効果オペレーター ● 石井隆

協力 ● かねこ道具工房株式会社 高津映画装飾株式会社  
株式会社神田屋(はきもの) 株式会社丸善(かつら)  
有限会社伊東運輸 演劇工房



「族譜」を観る会 松江会長  
財団法人人間自然科学研究所  
理事長 小松 昭夫

## ■「族譜」上演にあたってのご挨拶

「歴史に盲目な人は、現在においても盲目である」竹島・独島領有権問題を単独に捉えるのではなく、近現代史のなかで総合的に捉え、制御された対立エネルギーを、世界で最も大きなテーマとなっている環境問題・健康障害の解決のエネルギーに置き換える。そのような想いから、「尊厳の命」をテーマとするこの演劇「族譜」を観る会松江の会長を引き受けました。

戦後60年が経過してから、アメリカ、カナダ、オランダ、フィリピン、EU議会で日本政府に対する従軍慰安婦への謝罪要求決議が可決されました。

被害・加害の歴史に関して認識の違いを共有し、怨念を総合的に捉え、止揚に導き、地球共生社会をつくるための資源として生かす智慧と勇気が問われています。古代日本の平和の発祥地ともいわれるこの地での上演を契機として、朝鮮半島とその対岸から世界に先駆け、恒久平和に至る共生の文化を生む人類史的役割を皆様とともに果たすことを通じて、郷土の発展を考えようではありませんか。

## ■ 劇団ご挨拶

青年劇場「族譜」公演に足をお運びくださりまして、まことにありがとうございます。また、この厳しい時期に公演の実現に御尽力いただきました実行委員会のみなさまにも、合わせてお礼申し上げます。この「族譜」は、私たち青年劇場の長年にわたる韓国との交流の成果とも言えるべき作品です。韓国の演劇人との交流の中から生まれたレパートリーは「鮮やかな朝」(森脇京子=作、中野千春=演出、1996年度作品)、「カムサハムニダ」(飯尾憲士=原作「ソウルの位牌」より、瓜生正美=脚本、林英雄(イム・ヨウウン)=演出、2001年度作品)などがあり、「17歳のオルゴール」(森脇京子=作、堀口始=演出)と、「銃ロー教師・北森竜太の青春」(三浦綾子=原作、布勢博一=脚本、堀口始=演出)の2作品は青年劇場が韓国を訪れて上演し、交流を重ねてきました。とりわけ2005年の「銃ロー教師・北森竜太の青春」韓国公演は韓国国内14都市を40日間にわたり巡回するという大規模な交流の機会でした。このときに、暖かい気持ちで作品を受け止めてくださった韓国のたくさんの人々から「演劇を通じて日本の良心と初めて触れ合えた」という感想をいただき、演劇の持つ力を改めて教えられました。また、その公演の折に、「日本国内ではこういう歴史に踏み込んだ作品を上演しているのか」と問われたことも心に残りました。私たちは、日本の国内でも歴史の重みを見つめあい、語り合う機会を提供できるような作品を作りたいと考えました。梶山季之氏の「族譜」は以前から劇団の中でも話題になっていた作品ではありませんでしたが、ジェームス三木氏とも話し合い、改めて今この時期にぴったりの作品ではないかと思いが一致し、氏の脚本・演出により舞台化することにいたしました。2006年の紀伊國屋サザンシアターの初演では、13回すべてのステージを満席のお客様が埋めてくださり、また、その年のベスト作品としてこの作品が年間回顧で評論されるなど、期待を超えたご高評をいただきました。ご覧になった少なくないお客様からの「是非、全国公演を」という励ましに背中を押され、今年初めて全国公演に踏み出します。公演の後、歴史に思いを寄せ、未来に向けた、今を語り合う機会がたくさん生まれることを願っております。

青年劇場 代表 福島 明夫

## ■ 「族譜」を観て(全国公演の感想より)

自分の無知さや思い違いを痛感させられた。でも、知ることができて本当に良かったと思う。

確かに内容は重かった。しかし、終演から時間が経つにつれて、舞台上で語られる歴史的な事実を私たちが知らなければ、という気持ちの方がだんだん大きくなっている。

「族譜」とは、単なる家系図ではなく、その家の当主の目を通して見たその時代の真実の姿を書いたもの一娘の玉順(オクスン)の口から語られる族譜に書かれた真実は、日本人として耳を覆いたくなるような内容で、驚きと疑いで聞いているのがやっとだった。

そして、主人公の谷六郎のように否定や言い訳を探しながら、それでも歴史の真実として受け入れた時、人間の残酷さや戦争という時代の愚かさ目をつくってはいけなと思った。

この物語を観ながら、ずっと「北風と太陽」の話が頭の中をめぐっていた。目的のためなら手段を選ばない日本軍のやり方は、親日家の人々の心をえぐり、強靱な反日精神を芽生えさせてしまう。

人の心を大切にすることは、時代や民族に関係ない。日ごろから気をつけなければと改めて考えさせてくれた。

|                      |  |
|----------------------|--|
| HNS推薦図書              |  |
| 関妃暗殺 一朝鮮王朝末期の国母一     | 角田房子著(新潮文庫)                            |
| 魔法の経営ベンチャービジネスの雄     | 小松昭夫に学ぶこれからのビジネス 早川和宏著(三和書館)           |
| 資本主義2・0              | 宗教と経済が融合する時代 水野和夫・島田裕巳著(講談社)           |
| ハイ・コンセプト             | 「新しいこと」を考え出す人の時代 ダニエル・ピンク著 大前研一訳(三笠書房) |
| 一度も植民地にならなかったことがない日本 | デュラン・れい子著(講談社+α新書)                     |

本公演についてのご意見・ご感想をお寄せください。

**HNS**  
Human Nature Science  
財団法人 人間自然科学研究所

〒690-0046  
松江市乃木福富町735-188 松江湖南テクノパーク内  
TEL 050-3161-2490 FAX 050-3161-3846

URL  
<http://www.hns.gr.jp>

# 族譜

## キャスト

|                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 谷六郎             | 船津基                  |
| 薛鎮永(ソルヂニョン)     | 青木力弥                 |
| 薛玉順(ソルオクスン)     | 佐藤尚子                 |
| 金北萬(キムブマン)・金田北萬 | 葛西和雄                 |
| 平田課長            | 吉村直                  |
| 李慶淑(イキョンス)      | 上甲まち子                |
| 薛明姫(ソルミョンヒ)     | 武智香織                 |
| 薛明花(ソルミョンファ)    | 岡本有紀                 |
| 薛承英(ソルスンヨン)     | 八代名菜子                |
| 薛家の用人           | 大木章                  |
| ”(声)            | 広戸聡                  |
| 憲兵軍曹            | 大木章                  |
| 憲兵伍長            | 中谷源                  |
| 憲兵上等兵           | 広戸聡                  |
| 仮面の朝鮮人          | 広戸聡 上甲まち子<br>大木章 中谷源 |

## あらすじ

昭和15年、朝鮮京畿道水原郡。日本政府による“創氏改名”政策の任にあたっている日本人青年・谷六郎は、改名を拒んでいる地主・薛鎮永の説得を命じられ、彼の邸宅へ赴く。薛は、日本軍に莫大な量の米を献納する親日家であったが、谷の説得には一向に応じない。薛は娘・玉順に、700年にわたって受け継がれてきたという“族譜”を持ってこさせ、「一族の当主として、先祖代々受け継がれてきた名前を変えるわけにはいかない。」と力強く語る。谷は、“族譜”の持つ歴史の重みに圧倒されつつも、何とか改名に応じるよう説得を重ねる。やがて薛の身边では、日本政府による様々な圧力がかけられる。

※族譜…韓国朝鮮で一族の代々の当主が、家系図とともに、それぞれの時代のできごとを書き残し子々孫々に伝えるもの。



**船津基**  
ふなつもとい

☆日本大学芸術学部演劇学科卒業後、1993年入団、東京都出身。  
★「銃口教師 北森竜太の青春」北森竜太／「真珠の首飾り」リチャード・プール／「17才のオルゴール」光

「基」という字は物事の土台という意味。恐らく基本的な人間になれという意味なのだろう。又の説ではキリストを漢字で書くと「基」という字が入る。オーマイゴッド!!



**広戸聡**  
ひろとさとし

☆青年劇場付属養成所卒業後、1978年入団、島根県出身。  
★「呉將軍の足の爪」東の司令官ほか／「銃口教師・北森竜太の青春」木下悟／「ナース・コール」松木金造

五能線広戸駅、岡山県の広戸風、出石の町人広戸甚助…。珍しい割に、この名に出会います。中世頃に半島から渡来した芸芸に秀でた者の末裔らしいなどと、まことしやかな話を聞いたこともあります。真偽のほどは…?



**青木力弥**  
あおきりきや

☆人形劇団テアトルブッペ、劇団福の会、劇団はぐるま座を経て、1968年入団、静岡県出身。  
★「シャッター通り商店街」西条猪四郎／「菜の花らぶそでい」稲葉鉄人／「喜劇キュリー夫人」ロドルフ・シュッツ

「力弥力弥、由良助はまだか!」子どもの頃村の長老が両手をあげ次の科白を言えと迫る。「いまだ参上仕ませぬ」と答えると道を開けてくれた。親父は忠臣蔵が好きだったのです。



**武智香織**  
たけちかおり

☆青年劇場付属養成所卒業後、1998年入団、茨城県出身。  
★「悪魔のハレルヤ」てんし／「ケブラーあこがれの星海航路」叔母カテリーナ、妹マルガレーテ／「愛さずにはられない」夕子

本家は愛媛にあるそうです。しかし、まだ訪れたことも家系図を見たこともありません。私もいつか結婚したら姓を変えるのかな? まあ、その前に一度、本家に行ってみたく思います。



**吉村直**  
よしむらすなお

☆青年劇場付属養成所卒業後、1980年入団、熊本県出身。  
★「呉將軍の足の爪」呉將軍／「シャッター通り商店街」西条寅太／「銃口教師・北森竜太の青春」近堂伍長／新国立劇場「夏の夜の夢」ボトム

子どもの頃から「すなお」と読んでくれる先生が少なく、何故この名にしたのか親に詰問したところ、「近くの直さんという良く出来た人の名を頂いただけタイ!」とのこと。徳永直の名が出るかと期待してたのだが。



**上甲まち子**  
じょうこうまちこ

☆舞台芸術学院卒業後、1965年入団、福岡県出身。  
★「菜の花らぶそでい」稲葉民子／「真珠の首飾り」ペアテ・シロタ・ゴードン／「死と乙女」ポーリナ

入団した時は、上甲真知子でした。芸名を作る時名前をひらがなにしたのは、サインするのに格好がつかうと思ったからです。父が野上弥生子の小説名から付けた想いを無にしてみました。お父さんゴメンナサイ。



**岡本有紀**  
おかもとゆき

☆青年座研究所実習科卒業後、2007年入団、愛知県出身。  
★今作が初舞台

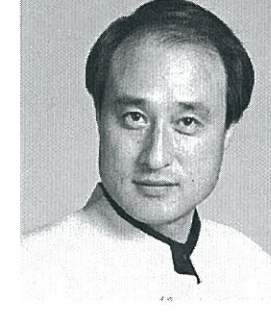
芸名をつけようと思った。一週間悩んだ。思い浮かばず、結局本名のまま。平凡な名前が好きじゃなかったけど(お父さんお母さんごめんね)これが私。25年でも変えられない。



**佐藤尚子**  
さとうたかこ

☆1981年入団、栃木県足利市出身。  
★「谷間の女たち」ペアトリス・カストリア、アマダ／「悪魔のハレルヤ」審問官ブルー／「真珠の首飾り」ペアテ・シロタ

改めて申し上げますが、タカコです。間違えてご記憶の方は、これを機にぜひお改め下さい。小さい時由来を聞きましてところ“神様を信じる”という意味だといわれました。広辞苑にはそんな事は書いてありませんでした。心もとない名前です。



**葛西和雄**  
かさいかずお

☆青年劇場付属養成所卒業後、1974年入団、宮城県出身。  
★「シャッター通り商店街」雨宮素平／「尺には尺を」公爵・ヴィンセンシオ／「銃口教師・北森竜太の青春」北森政太郎

和雄の和は、旧満州で生まれてすぐ栄養失調で死んだ次男和彦から一字貰ったと聞く。長男は昭彦、二人合わせて「昭和」だ。私は「平和の和」と名乗ることにしている。



**八代名菜子**  
やしるななこ

☆青年座研究所実習科卒業後、2007年入団、東京都出身。  
★今作が初舞台

「ナナコ」という名前は、吉野弘さんの「奈々に」という詩からつけられました。でも何故「名菜子」になったのか、その秘密を知りたい方は缶ビール持って私のもとへ。



**大木章**  
おおきあきら

☆青年劇場付属養成所卒業後、1988年入団、栃木県出身。  
★「呉將軍の足の爪」人事係下士官ほか／「尺には尺を」エルボー／「銃口教師・北森竜太の青春」大里重吉

幼い頃のテレビアニメのヒーローには「アキラ」という名が多く、僕はそんなアニメを見ては主人公に自分をダブらせて遊んでいました。大人になったらあんな風に…。でも実際は…?



**中谷源**  
なかたにげん

☆前進座附属養成所卒業後、1977年入団、徳島県出身。  
★「あるハムレット役者の夢」裁判所執行官／「尺には尺を」紳士1、アブホーソン／「真珠の首飾り」サイラス・H・ピーク

子どもの頃、台所の流しの下で飯盒を見つけた。そこには屋号なのか「ナカヤ」と彫り込みがあった。しかし茶色のそれは父が戦地で使っていたものだったのである。兵隊時代の父は「なかに」ではなく「ナカヤ」だったのである。